

高山市平和都市宣言 文案検討表

柱（見出し）	班長会議案（B班案をもとに他班案を取り入れて作成）	論点	メモ
市の紹介	<p>高山市は、飛騨山脈に代表される①<u>厳しくも豊かな自然に恵まれ</u>、②<u>周りとのつながりを大切に</u>し、長い歴史の中で、祭りや匠の技などの伝統文化を③<u>大切に</u>育んできました。④<u>またこうした背景をもとに</u>、⑤<u>国内外から多くの観光客人々が訪れる</u>⑥<u>「国際観光都市」として</u>⑦発展し、異文化交流が生まれ、相互理解がより深まっています、<u>おもてなしの心を大切に</u>してきました。</p> <p>⑧<u>さらに、国際平和デーにあたる9月21日を「高山市平和の日」と定め、飛騨高山の地から、世界に向けて恒久平和の実現を訴えています。</u></p>	<p>ここは、我々がどういう人間かを示す大切な部分。こういう人間がこう考えている、こうしていくということになり、宣言の根幹と言える。</p> <p>① 自然は厳しさをあわせ持っており、我々は、厳しい自然とともに、生活してきたため。</p> <p>② 我々は、周りの人、自然とのつながり（人情・風土）を大切に生活してきたため。</p> <p>③ 「大切に」が1文に2つ出てくるため。</p> <p>④ 前文の営みを背景に、観光客をお迎えし、平和を願っているため、「また」ではなく「こうした背景をもとに」とした。</p> <p>⑤ 文章中に、「国際観光都市」とあるため、重複する「国内外から 観光客」を言い換えた。</p> <p>⑥ 国際観光都市宣言の文章にならい、「国際観光都市」とした。</p> <p>⑦ 相互理解がより深まっているとまでは、現状、言えないと考え、「取り組み」に記載することとした。代わりに、市民が大切にしている「おもてなしの心」という言葉を入れた。</p> <p>⑧ 市の取り組みであるため、「現状」に記載するよりも、市の紹介の一連で記載したい。</p>	
現状	<p>しかし、世界の各地では、紛争・テロ・飢餓が後を絶たず、⑨<u>核兵器の脅威にさらされている現実</u>があります。</p> <p>⑧<u>高山市では、国際平和デーにあたる9月21日を「高山市平和の日」と定め、飛騨高山の地から、世界に向けて恒久平和の実現を訴えています。</u></p>	<p>⑨ 2016年という時代認識に立った場合、「核兵器の脅威」とするのが適当か、「核の脅威」とするのが適当か。</p>	
目標	<p>⑩<u>私たちは、世界中の人々が安心して平和に暮らせる日が必ず来ることを願い、行動します。</u></p>	<p>⑩ 他の文章は、具体的な取り組みであり、当文章は、最終的な目標。この目標を達成するために、この行動をしていくという強さをここで表したいため、「願い、行動します」とした。</p>	
目標 取り組み	<p>私たちは過去に学び、⑪<u>次の世代未来に伝えて</u>いきます。</p> <p>戦争と⑨<u>核兵器</u>がもたらす悲惨さ、愚かさ、恐ろしさ、⑫<u>そして命の大切さを</u>。</p> <p>私たちは守り続けます。</p> <p>豊かな自然、誇れる伝統文化、人と人との絆⑫<u>、そして大切な命を</u>。</p> <p>⑦<u>私たちは大切に</u>します。</p> <p><u>多様な文化を理解し、尊重することを</u>。</p> <p>⑩<u>私たちは願っています。</u></p> <p><u>世界中の人々が安心して平和に暮らせる日が必ず来ることを。</u></p>	<p>⑪ 過去に対しては、「未来」という言葉を使いたい。</p> <p>⑫ 「命の大切さ」は、守るよりも、未来に伝えていくこととしたい。</p>	
決意	<p>私たち高山市民は、市制施行80周年にあたり、⑬<u>世界の恒久平和の実現に向けて</u>⑭<u>行動することを決意し</u>、⑬<u>国の内外に向けて</u>、⑮<u>高山市が永久に平和都市であることをここに宣言</u>します。</p>	<p>⑬ 「世界の」か「国の内外に向けて」のいずれかとしたい。</p> <p>⑭ 「目標」に「～行動します」と入れれば、ここは削除しても良いのではないか。</p> <p>⑮ 「高山市」は削除しても良いのではないか。</p>	